

東久留米市立中央中学校 第1学年

教科	児童・生徒の学習状況分析 更に工夫したい点	具体的な授業改善策	評価・検証方法、目標値 評価（◎、○、●）
国語	<p>文学的文章の読解は好きな生徒が多いが、説明的文章は苦手だと考えて入学する生徒はとても多い。 説明的文章の文章構成のありかたと展開の原理、また読み解き方を理解させる。</p>	<p>最初の1時間目で文章構成の大枠を確認するパターン学習を行う。読解では抽象と具象、段落と段落の関係、接続語の役割、キーワードなどを通して読解の原理を掴めるよう指導していく。</p>	<p>○説明的文章が苦手でなくなることはテストの結果とノートの自己評価で検証できる。（ノートはテスト後に点検する。）文学的文章と同程度の得点結果を出すことが当面の目標である。</p>
	<p>伝えたいことを的確に表現するための漢字や語彙が不足している。ここを強化する。</p>	<p>漢字は年間20回を超えるテストでテスト→復習→テストの反復を行う。スピーチなどの原稿作成を通して、的確に伝える学習に取り組む。</p>	<p>○漢字テスト、定期テストで8割近くの生徒が、B評価を超えることが目標。語彙力が向上したかどうかはワークシートなどで点検するが数値化しない。</p>
社会	<p>資料に対する苦手意識があり、雨温図や統計資料の読み取りなどの地理的技能が身につけていない生徒が多い。</p>	<p>地図帳、資料集などを用いて調べ学習を行い、ワークシート上で複数の地理資料を関連付けて地域的特色の理解を深める。</p>	<p>○グラフや資料から読み取る演習問題に取り組み、全員が評価B（おおむね満足できる）以上を目指す。</p>
	<p>小学校での既習事項を活用し、説明的文章を書く力を身に付けさせる。</p>	<p>文章化する手法が分からない生徒が多いため、グループでイメージを共有し、「イメージ想起→イラスト化→言語化」の段階的指導を行う。</p>	<p>○單元ごとにワークシートを回収し、数値目標値を確認する。</p>
数学	<p>小学校で学習する計算や基本的な四則演算に課題のある生徒が多く、学習習慣が身につけていないと思われる。</p>	<p>週1回程度小テストを行い、添削指導と授業でのフィードバックを重ねることで計算能力の向上を図る。</p>	<p>○小テストで8割以上の生徒がB評価（50%）以上、半分以上の生徒がA評価（80%）をとれることを目指す。</p>
	<p>授業で学んだ内容を適切にアウトプットすることができない生徒が多くみられる。</p>	<p>定期考査に加え、章ごとに單元テストを行い、基礎基本の定着を図る。</p>	<p>○單元テストで8割以上の生徒がB評価（50%）以上をとれることを目指す。</p>
理科	<p>計算や論述などの思考力を伴う問題に、苦手意識のある生徒が多くみられる。</p>	<p>・各小單元（章）の終わりに学習ドリルを用いて演習問題に多く取り組ませる。</p>	<p>○授業内での章末テストで、8割以上の生徒が6割以上の点数を取れることを目指す。</p>
	<p>様々な事象を既習事項や自然体験学習から、結果を予測させ、興味をもたせる。</p>	<p>実験、観察の結果をまとめ、表現することで、自然の事物、現象を科学的に理解する思考力を養う。</p>	<p>○レポート課題で7割以上の生徒がおおむね満足できるB評価以上を目指す。</p>
音楽	<p>発言が多く、前向きに音楽活動に取り組む生徒が多い。基礎的な読譜力や音楽的な知識を身に付けさせる。</p>	<p>音楽記号のゲームやワークシートを準備し、基礎的な知識を得られる学習時間を設定する。</p>	<p>○音楽記号等をワークシートで学習し、定期考査に出題する。該当箇所の問題正答率は7割程度をめざす。</p>
	<p>鑑賞教材について、自分の言葉で表現できる力を培い、自分の考えを発表できるようにする。</p>	<p>視聴覚機器を活用して、分かりやすく示し、言葉で表現する場面を設定する。また、良い表現については、教師から提示し、共有する。</p>	<p>○ワークシートの記述課題で、7割以上の生徒がおおむね満足できるB評価以上を達成できるようにする。</p>

美術	表現活動・鑑賞活動ともに意欲的に取り組む生徒が多い。自分らしく表現できる生徒を育成するため構想の場面で段階的な制作ができるようにする。	スモールステップで取り組めるようなワークシートやマッピングで発想を広げられるようなワークシートの作成をする。	○ワークシートでの記述で、自分が表したいことの記述が、明確にできる生徒を7割程度の達成を目指す。
保健体育	意欲的に取り組む生徒が多く、授業に前向きに取り組んでいる。 体幹トレーニング等を取り入れ、いろいろな競技に生かしていきたい。	新体力テストの結果を取り入れたトレーニングを行う。 一つ一つの競技の特性をより踏まえ、練習方法等を工夫していく。	○毎時間学習カードで振り返りを行い、8割以上の生徒が自ら課題解決をできる力を付ける。 ○競技ごとに評価テストの種類を増やし、多面的な角度から評価を行い、8割以上の生徒が目標を達成できるようにする。
技術	授業に対して興味をもち、取り組んでいるが、知識理解の定着ができていない生徒がいる。	授業で実践している事柄や道具などを覚えておけるようにプリント学習等を工夫して作成、実践していく。	○プリント記述内容、振り返りカードの確認。7割以上の生徒が、知識・技能でB評価以上の達成を目指す。
家庭	授業に対して興味をもち取り組んでいるが、日常生活の中で必要かどうか理解できていない生徒がいる。	日常生活において、授業で学んだことをすぐに実践できるようにロールプレイやグループワークなど行う。	○まとめたことを発表する。 ◎プリントの記述内容、振り返りカード、製作物の取り組みから確認する。(毎時間理解していると判断できる生徒が7割を目指す)
外国語	授業に対しては積極的であるが、正しく英文を作るための語彙や文法事項の知識が不足している。 英文を書いたり、ペアやグループで会話したりする時間を毎時間取りたい。	授業で課題として単語調べやペアで単語練習を行い、授業の中で単語に多く振れる時間をとる。 帯活動で会話活動を行い、あいづちを打ったりして、会話を続けることを意識させる。会話を続けることを確認する。	●レッスンテストの知識・技能で、8割以上の生徒がB評価(50%以上)を取ることを目指す。 ◎パフォーマンステストを行い、8割以上の生徒がB評価(50%以上)を取ることを目指す。
道徳科別の	自分の意見をもっているが、ワークシートに文章として記述するのが苦手な生徒や、発表が苦手な生徒が見られる。	ICTを用いて短文かつ簡単に自分の意見を表明可能な場面を設け、積極的に意見を集める。	○1授業で1人1回意見を提示する。
間総合的な学習の時	調べ学習に際し、ICTを用いて、調べるだけでなく、新聞やレポートを作成させる。	2学期の「川越校外学習」、3学期の「職業調べ学習」でICTを活用して新聞を作成する。	○それぞれ作品を掲示し、発表会を行う。自己評価、相互評価を通してよりよいまとめ方を学ばせる。5割以上の生徒が達成することを目指す。